



## 令和3年度 事業報告

### I 作品

#### (1) 収集

##### 寄贈作品

NO	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	技法材料
1	内田あぐり	わたしの前にいる、目を閉じている #09T	2009年	222.0×720.0	彩色・紙
2	遠藤彰子	岐路	1984年	194.0×259.0	油彩・キャンバス
3	大沢昌助	パッサージュ (風景)	1997年	97.0×130.3	油彩・キャンバス
4	大沢昌助	海も暗い、そして大地も暗い。人はさまよいそして通過する。	1996年	97.0×130.2	油彩・キャンバス
5	大沢昌助	夢みる少年	1948年	91.0×72.8	油彩・キャンバス
6	大沢昌助	三角の構成	1997年	55.0×70.0	水彩・紙
7	大沢昌助	エチュードⅢ	1997年	100.0×80.3	油彩・キャンバス
8	大沢昌助	廃墟と静物	1949年	80.3×65.1	油彩・キャンバス
9	大沢昌助	静物	1942年	45.5×53.0	油彩・キャンバス
10	大沢昌助	対話	1997年	38.0×57.1	水彩・紙
11	大沢昌助	顔	1930年代	17.8×13.9	油彩・キャンバス
12	須永祥雍	風のせい	2020年	100.2×80.3	油彩・キャンバス
13	松本節	無題	不詳	65.2×53.0	油彩・キャンバス
14	高良眞木	無題(絶筆)	2011年	72.5×50.0	油彩・キャンバス
15	毛利武士郎	鳩ノ巣 メキシコの遺跡より	1959年	約112.0×125.0×62.0	ブロンズ
16	稗田一穂	黎明	2005年	91.0×73.0	彩色・紙
17	稗田一穂	浜辺微風	2006年	160.0×123.0	彩色・紙
18	稗田一穂	雪後	2009年	73.0×91.0	彩色・紙

##### 寄託作品

NO	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	技法材料
1	川村清雄	玩具と貝合わせの静物	1905年	19.8×40.0	油彩・板
2	川村清雄	神木と祠	大正～昭和初期	38.3×30.4	油彩・板
3	幸徳幸衛	室戸岬風景	1931年	23.5×33.0	油彩・板
4	菅野圭介	蔵王の冬	不詳	22.8×31.7	油彩・キャンバス
5	高井貞二	PINK AND GREEN	不詳	35.5×25.0	油彩・キャンバス

## (2) 展示

当館展覧会において下表のとおり、850点の作品を展示しました。

NO	種別	展覧会名	総出品点数	うち所蔵・寄託	うち借用
1	企画展	川瀬巴水展	297点	0点	297点
2	企画展	柳原義達展	88点	0点	88点
3	企画展	Studio COOCA 展	300点	0点	300点
4	特集展	The Gift 展	74点	74点	0点
5	企画展	遠藤彰子展	43点	0点	43点
6	特集展	湘南の日本画展	34点	34点	0点
7	ロビー展	KIM KYOUNG - MIN 展 キム キョンミン	14点	0点	14点
計			850点	108点	742点

## (3) 貸出

開催展覧会の内容や意義、開催場所の設備・環境、作品の状態や当館での利用予定などを考慮し、下表のとおり10点の作品を貸し出しました。

NO	貸出先	展覧会名・会期	点数	作家・作品名
1	鐫木清方記念美術館	特別展「随筆『こしかたの記』刊行60年記念 清方えがく 市井の暮らしとその美」(2021年5月22日～6月27日)	2点	鐫木清方《洛外の春》《小園夏趣》
2	池田20世紀美術館	久野和洋の世界展(2021年6月24日～10月12日)	4点	久野和洋《美》《地の風景・道のかたち》 《筧二個と水差し》《複製画のある静物》
3	北海道立三岸好太郎美術館、神戸市立小磯記念美術館	貝殻旅行—三岸好太郎・節子展—(2021年6月26日～9月1日、11月20日～2022年2月13日)	1点	三岸好太郎《旅愁》(寄託作品)
4	砺波市美術館、一宮市三岸節子記念美術館	貝殻旅行—三岸好太郎・節子展—(9月11日～11月7日、2022年2月19日～4月10日)	1点	三岸好太郎《海洋を渡る蝶》(寄託作品)
5	横須賀美術館	ビジュツカンノススメ(2021年9月18日～11月7日)	1点	東郷青児《花を持つ女》(寄託作品)
6	千葉市美術館	福田美蘭展(2021年10月2日～12月19日)	1点	福田美蘭《見返り美人 鏡面群像図》
計			10点	

## II 展覧会

### (1) 企画展 開館 30 周年記念 荒井寿一コレクション 川瀬巴水展

種 別	企画展
会 期	4月24日(土)～6月13日(日)
主 催	平塚市美術館
特別協力	荒井寿一コレクション
協 賛	神奈川中央交通株式会社
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日 ※5月3日は開館し、5月6日(木)は休館
観 覧 料	一般800円、高大生500円
開催日数	44日
観覧者数	18,088人
担 当	家田奈穂(当館学芸員)
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>《旅みやげ第二集 金沢下本多町》1921年 木版・紙、荒井寿一コレクション</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>《東京十二題 五月雨ふる山王》1919年 木版・紙、荒井寿一コレクション</p> </div> </div>	

#### ●内容

大正から昭和にかけて風景版画を数多く制作した川瀬巴水（かわせ・はすい、東京生、1883-1957）の展覧会を開催しました。

川瀬巴水は、幼少より絵に関心を寄せていましたが、本格的な画業の開始は遅く、27歳で錦木清方（かぶらき・きよかた）に師事します。大正時代前半の巴水は、清方の弟子として雑誌の挿絵や口絵、広告図案などの仕事をして版による制作に親しみました。やがて、同門の伊東深水が制作した風景版画《近江八景》の連作に影響を受けて本格的な木版画制作をこころざし、版元・渡邊庄三郎と協力して、大正7（1918）年に塩原の写生にもとづく三部作を発表します。以後、約40年にわたって日本各地を写生旅行し、その地に暮らす人々の生活や四季折々の風景をもとに、詩情あふれる作品を数多く生み出しました。

本展は、昨年度開催を予定していた「川瀬巴水展」が新型コロナウイルス感染症のため中止になったことをうけて、荒井寿一コレクションのみで再構成したものです。荒井寿一コレクションは、川瀬巴水の初期から晩年までの優れた版画作品を網羅するほか、これまで紹介される機会の少なかった本の装丁や雑誌の表紙・挿絵・口絵、絵はがきなどのグラフィックデザインを含む充実したコレクションです。「版」という表現手段を通じて生み出された巴水作品の展開と幅広さを紹介しました。

●関連事業

○ワークショップ「水性多色木版画に挑戦！！」

日時：5月23日（日）、5月30日（日）、6月6日（日） 各日 13:30～16:30

※全3回講座、事前申込制

講師：内山良子氏（版画家）

参加者：8人

(2) 企画展 開館 30 周年記念 柳原義達展

種 別	企画展
会 期	4月24日(土)～6月13日(日)
主 催	平塚市美術館
共 催	三重県立美術館
助 成	公益財団法人三重県立美術館協力会
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日 ※5月3日は開館し、5月6日(木)は休館
観 覧 料	一般400円、高大生200円
開催日数	44日
観覧者数	13,223人
担 当	勝山滋(当館学芸担当長)、品川ちひろ(当館会計年度任用職員)
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>柳原義達《坐る》1960年 三重県立美術館蔵</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>柳原義達《風の中の鴉》1982年 三重県立美術館蔵</p> </div> </div>	

●内容

日本の彫刻界を代表する作家のひとりである、柳原義達(1910-2004)の業績を紹介しました。柳原は戦前よりロダン、ブールデルの影響により彫刻制作を始めます。戦争を経て、戦後、1953年に渡仏し、新たな具象彫刻を制作します。その緊張感に満ちた造形性は、対象の本質を表し、具象彫刻の可能性を押し開きました。加えて、ヒューマニズムに裏打ちされた感覚により、生命感あふれる作品を発表します。これにより、戦後日本の彫刻界に大きな足跡を残しました。

「生命の力の移動を見、その移動によってプランが構成される芸術は、絵では出来ない。ただ一つの彫刻の世界、特に具象の作家の仕事ではなかろうか。

私はこのことこそ、唯一の純粋な彫刻の美であり、具象の美しさであると信じている。私は少しでも絵画的表現の戦前の仕事から、彫刻の本質とは何かの困難な道を歩みたい。」(『柳原義達美術論集 孤独なる彫刻』)と柳原は記しています。

本展では、代表的な彫刻および素描により柳原彫刻の魅力を紹介しました。

### 3) 特集展 開館 30 周年記念 The Gift 寄贈をうけた作品選+新収蔵品展

種 別	特集展
会 期	7月3日(土)～10月24日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00 (入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日 (8月9日、9月20日は開館)、8月10日(火)、9月21日(火)
観 覧 料	一般200円、高大生100円
開催日数	98日
観覧者数	8,009人
担 当	勝山滋(当館学芸担当長)
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>鳥海青児《石だたみ (印度ベナレス)》1962年</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>鵜野政《星のまつり》1972年</p> </div> </div>	

#### ●内容

開館 30 周年を記念し「The Gift 寄贈をうけた作品選+新収蔵品展」を開催しました。作品の収集は美術館活動の根幹です。当館にはもともとコレクションの母体がなく、60年代半ばから作家一点寄贈運動が契機となって収集活動がはじまりました。平塚出身の洋画家・鳥海青児に当時の市長・加藤一太郎が直接寄贈を依頼したことを皮切りに、およそ10年で湘南ゆかりの作家の作品110点あまりが市に寄贈されました。

1976年に平塚市博物館が開館すると、同館の美術担当を窓口にして作品寄贈が活発化し、井上三綱や二見利節の作品などが収蔵されました。美術館の開館までの時期には6000点を超える寄贈があり、開館以後は展覧会での出品を機とした寄贈も増加していきました。こうした流れをみて気が付くことは、60年代から70年代にかけては市長自らが寄贈を依頼し、当時活躍していた作家が近作のなかから自発的に寄贈をしており、制作年もこの当時のものに偏りがあり、やがて美術館の建設基本計画などで収集の方針が定められるとしたいに系統だった収集が行われていくという特徴があります。

そこで本展では、このように特徴づけられ、折々に作家や関係者から贈られた寄贈作品を「前史」「博物館時代をへて美術館開館へ」「新収蔵品」の3つの章にわけ、74点の作品によってその一端を紹介しました。

これらの作品は、市や美術館建設、地域文化を発展させたいという想いがこもったギフトであり、当館が開館するにあたっての大きな原動力になりました。The Gift という展覧会名には、このような経緯で開館し30周年を迎えた美術館から来館者へのお礼を込めた贈り物という意味を込めました。

#### ○学芸員によるギャラリートーク

①7月22日(祝・木) ②8月29日(日) 各回14:00～15:00

場所：展示室Ⅱ ※申込不要、要観覧券

参加者：①22人 ②【中止】

(4) 企画展 開館 30 周年記念 studio COOCA のパップパラパラダイス 2021

—これがとってもとくいです—

種 別	企画展
会 期	7月10日(土)～9月12日(日)
主 催	平塚市美術館
協 賛	神奈川中央交通株式会社
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30 まで)
休 館 日	月曜日 (8月9日は開館し、10日休館)
観 覧 料	一般700円、高大生500円
開催日数	56日
観覧者数	7,405人
担 当	江口恒明(当館学芸員)
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>川村紀子 《はだかんぼ》1998年頃</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>横溝さやか 《SHIBUYA 2020》2017年</p> </div> </div>	

●内容

studio COOCA (スタジオ・クーカ) は、2009年に設立された平塚市内の障害福祉サービス事業所です。様々なハンディキャップをもった人が、「得意なことで仕事をする」を目指して、アートをテーマに活動を続けてきました。

これまでに、ギャラリーや公共スペース、美術館などで展示活動やワークショップを積極的におこない、商品デザインやパッケージ、各種メディアで作品を目にする機会も多数あります。国内外のアートマーケットやデザイン関係者から高い評価を得て、障害者アートの世界で著名なアーティストを擁する施設として知られています。また、2015年からは、GALLERY COOCA & CAFE (平塚市明石町) を開設し、施設利用者とまちの人たちとのコミュニケーションの場をつくり、地域の文化的な交流もおこなっています。

本展では、平塚市内で長く活動してきた studio COOCA の作家による絵画とインスタレーションを中心に、公開制作やパフォーマンスもあわせてその作品を紹介します。どの作品もカラフルな色彩や個性の強いキャラクターなどで特徴づけられる独自の世界観をもち、さまざまな枠組みに縛られない自由な表現で人々を楽しませ惹きつけてくれます。

アートに特化した福祉施設は全国にも多数ありますが、studio COOCA の活動は、所属アーティストのそうした特色を最大限にいかして、つねにさまざまなボーダーを問うところにオリジナリティがあります。明るく突き抜けた作品は「障害とは?」「アートとは?」というメッセージを発し、社会的なインパクトもあるアートとなっているのです。

●関連事業

○「人形劇団ふもっふっ」人形劇&横溝さやか紙芝居@平塚市美術館

日時：①7月24日（土）、②8月22日（日）14：00～14：30

場所：展示室 I

参加者：①80人、②【中止】

○講演会&THE KENTY DONUTS・studio COOCA パフォーマンスラボ 公演【中止】

講師：関根幹司氏（studio COOCA 施設長）

日時：9月12日（日）14：00～15：30

場所：ミュージアムホール

対象・定員：一般・50人

○公開制作

日時：毎週木曜日、7月24日（土）、8月22日（日）、9月12日（日） 10：30～15：00

場所：展示室 I

○夏のおしゃべり美術館

日時：8月11日（水）～14日（土） 各日13：30～14：15

場所：展示室 I

参加者：8月11日・4人、12日・18人、13日【中止】、14日【中止】

○YouTube 配信

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となった「人形劇団ふもっふっ」人形劇&横溝さやか紙芝居、THE KENTY DONUTS・studio COOCA パフォーマンスラボ 公演をYouTube で動画配信しました。

(5) 企画展 開館 30 周年記念 物語る 遠藤彰子展

種 別	企画展
会 期	10月2日(土)～12月12日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日
観 覧 料	一般800円、高大生500円
開催日数	62日
観覧者数	7,623人
担 当	勝山滋(当館学芸担当長)、安部沙耶香(当館学芸員)
	
<p>遠藤彰子《みつめる空》 1989年 相模原市蔵</p> <p>遠藤彰子《鐘》2007-2008年</p>	

●内容

遠藤彰子氏(相模原市在住)は長年にわたる精力的な活動によって全国の美術館で大掛かりな個展が開催されるなど、現在最も注目される洋画家です。

1947年、東京都中野に生まれた作家は幼少より絵に親しみ、武蔵野美術短期大学に学びました。1972年、女流画家協会展に出品した《楽園》がマツダ賞を受賞し、画家としてのデビューを果たします。この頃から素朴で童画的な要素を取り入れた「楽園」シリーズが始まります。この「楽園」シリーズは結婚を機に都内から自然あふれる相模原市に移ったことから誕生しました。その後、1970年代後半から「街」シリーズが始まります。この「街」シリーズによって洋画家・遠藤彰子の名は広く世間に知られるようになりました。1978年、昭和会展の林武賞、1980年、女流画家協会展の女流画家協会賞など受賞を重ね、1986年には「街」シリーズの探究を凝縮した《遠い日》で安井賞を受賞。画家としての評価を決定的なものとなりました。

1989年からは500号をひとつの単位とする大作のシリーズが始まります。単眼の視点から多視点の構図へと向かい、螺旋構成など空間構成に様々な試行がなされています。また、神話的世界や物語性を内包した作品内容は、その絵画世界の壮大さによってみるものを圧倒します。2000年代に入ると、500号を結合し、1000号、1500号となる更なる大型作品を発表、その圧巻のスケールは作品内容の充実とともに高く評価されています。その例をみないスケール感はみるというよりも体感する絵画とも言えます。

本展覧会では、この超大作を中心に本展のために描かれた新作を含め、また各時代の数々の代表作品をご紹介します。圧倒的な存在感と深い物語性を秘めた独自の遠藤ワールドをお楽しみいただきます。

●関連事業

○遠藤彰子氏講演会

①10月17日(日) ②11月28日(日) 各回14:00-15:30

場所:ミュージアムホール ※事前申込制

参加者①50人 ②50人

①、②とも、YouTubeにおいてリアルタイムで動画配信しました。

○遠藤彰子氏によるワークショップ

①11月6日(土) 「身の回りのものに絵を描こう」

②11月20日(土) 「イメージを作品にしてみよう」

各回13:30-16:30

場所:アトリエ ※事前申込制

参加者①12人 ②12人

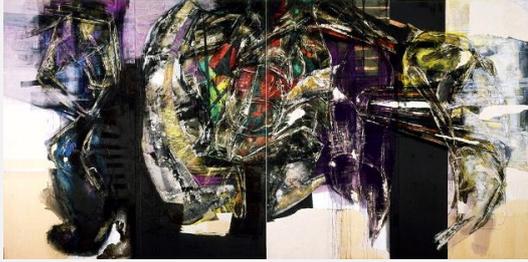
○学芸員によるギャラリートーク

①10月23日(土) ②12月4日(土) 各回14:00~14:40

場所:展示室I ※申込不要、要観覧券

参加者①21人 ②27人

(5) 特集展 湘南の日本画一院展、創画会の作家を中心に

種 別	特集展		
会 期	10月30日(土)～2022年2月13日(日)		
主 催	平塚市美術館		
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)		
休 館 日	月曜日、(2022年1月10日は開館し、翌火曜日休館)、年末年始(12月29日～1月3日) ※展示替えのため休室12月20日～28日		
観 覧 料	一般200円、高大生100円		
開催日数	80日		
観覧者数	6,595人		
担 当	安部沙耶香(当館学芸員)		
	 <p>横山大観 《不盡之高嶺》1915年</p>	 <p>内田あぐり 《吊るされた男#01K》2001年</p>	 <p>工藤甲人 《愉しき仲間(二)》1951年</p>

●内容

開館30周年を迎えた平塚市美術館では所蔵品のデータベースを整理し、ジャンルごとにWEB上で公開する準備を進めています。今年度は日本画作品を公開するのに合わせて主要なコレクションを展示しました。

明治維新後に成立した日本画はたえず新たな表現を模索し続けてきました。さらに、第二次世界大戦後に叫ばれた日本画の危機を乗り越え、現在へと引き継がれてきました。今回は当館にゆかりのある湘南地方の日本画にスポットを当て、日本画の流れをご覧ください。当館の日本画コレクションは大磯に居を構えた安田靉彦とその周辺の日本美術院の作家晩年に大磯で過ごした創造美術の創立メンバー・山本丘人とその周辺の創画会の作家日展などの美術団体や無所属の作家によるものです。彼らの作品を一堂に展示することにより、明治から現代までの日本画の多彩な表現をご紹介します。展覧会をご覧いただいたあと、ご自宅でWEB上のデータベースを使い作品について調べることも可能となり、当館の日本画コレクションの魅力を存分にお楽しみいただくことができました。

●関連事業

○学芸員によるギャラリートーク

①12月18日(土) ②2022年1月29日(土) 各回14:00～14:40

場所：展示室Ⅱ ※申込不要、要観覧券

参加者①13人、②【中止】

(6) 特集展 ロビー展 KIM KYOUNG-MIN 展—キム・キョンミン

種 別	特集展
会 期	2022年1月4日(火)～4月3日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00
休 館 日	月曜日 (祝日は開館し、翌日休館)
観 覧 料	無料
開催日数	78日
観覧者数	6,940人
担 当	勝山滋(当館学芸担当長)
 <p>遭遇 I (2020年) 作家蔵</p>	

●内容

金景擘 (キム・キョンミン、1971-) は韓国釜山に生まれ、多摩美術大学をへて現在八王子市にアトリエを構え制作する女性作家です。

水の音と空間をコンセプトに流転する水の流れのなかに永遠を映すステンレススチールの作品は現在高く評価され、公募展や野外彫刻コンクール、UBEビエンナーレなどで受賞を重ねています。

ロビー展の舞台となるテーマホールは外光がふりそそぎ、時とともに様相が変化する大空間です。うつろう陽光のなかで立ちあらわれる金景擘の作品世界を存分にご堪能いただきました。

### Ⅲ 教育普及

#### (1) 令和3年度実施プログラム

24プログラム実施 参加者数：281人

担当：江口恒明(当館学芸員)、品川ちひろ(当館会計年度任用職員)、浅野泰恵子(当館会計年度任用職員)

NO	講座名	講師	実施日	材料費	対象	参加者数
1	宮川慶子展関連事業 自分だけのふしぎなきものを描こう	宮川慶子 (現代美術家)	4月4日(日)	500円	親子(年長～小学生)	3組 8人
2	体験アートセラピー 親子でパステルワーク～笑顔のカードを作ろう～	福山恵美子 (アートセラピスト)	4月10日(土)	200円	親子(小・中学生)	11人
3	MAN-PRINT 等身大の影を撮影しよう!	浅見俊哉 (美術家・写真作家)	5月8日(土)	3,500円	親子(年長～小学生)	3組 6人
4	荒井寿一コレクション 川瀬巴水展関連事業 水性多色木版画に挑戦!!	内山良子(版画家)	5月23日(日) 5月30日(日) 6月6日(日)	1,700円	中学生～一般	8人
5	キッズアート・ピクニック	富田めぐみ※	6月3日(木)	500円	親子(2歳～4歳)	8組 16人
6	東海大学協働事業 彫刻デッサン教室 所蔵彫刻作品を描いてみよう	河野孝博、笈菜奈子 (東海大学芸術学科教員)	6月5日(土)	500円	中学生～一般	8人
7	バックヤードツアー2021	当館学芸員	6月26日(土)	無料	中学生～一般	13人
8	キッズアート・ピクニック 夏	富田めぐみ※	6月29日(木)	500円	親子(2歳～4歳)	9組 18人
9	おうちの窓を天の川にしよう! 星とカササギの七夕モビール作り	依田梓(美術家)	7月3日(土)	600円	親子(小・中学生)	4組 8人
10	体験アートセラピー 親子でサマーカード	福山恵美子 (アートセラピスト)	7月24日(土)	200円	親子(小・中学生)	6組 14人
11	とけてなくなるせかい 8月3日の回	ドゥイ(造形教室主宰) 中高生ボランティア7名	8月3日(火)	300円	5歳～小学生	7組 17人
12	とけてなくなるせかい 8月22日の回	ドゥイ(造形教室主宰) 中高生ボランティア	8月22日(日)	300円	5歳～小学生	中止
13	キッズアート・ピクニック 9月	富田めぐみ※	9月30日(木)	500円	親子(2歳～4歳)	中止
14	体験アートセラピー 大人のための「心をほぐす」パステルアート	福山恵美子 (アートセラピスト)	10月2日(土)	300円	中学生～一般	11人
15	キッズアート・ピクニック 10月	富田めぐみ※	10月12日(木)	500円	親子(2歳～4歳)	7組 16人

16	東海大学協働事業 彫刻デッサン教室 所蔵彫刻作品を描いてみよう	吉村維元、仙谷朋子 (東海大学芸術学科教員)	10月30日(土)	500円	中学生～一般	9人
17	物語る 遠藤彰子展関連事業 身の回りのものに絵を描こう	遠藤彰子(洋画家)	11月6日(土)	無料	小学生～一般	6組 12人
18	キッズアート・ピクニック 11月	富田めぐみ※	11月7日(日)	500円	親子(2歳～6歳)	8組 16人
19	物語る 遠藤彰子展関連事業 イメージを作品にしてみよう	遠藤彰子(洋画家)	11月20日(土)	無料	中学生～一般	12人
20	キッズ鑑賞ツアー 12月	富田めぐみ※	12月4日(土)	無料	親子(0歳～小学生)	8組 18人
21	ガリ版で年賀状を作ろう!!	城戸宏 (版画工房主宰)	12月5日(日)	800円	中学生～一般	5人
22	銅版画講座 ドライポイントに挑戦!	城戸宏 (版画工房主宰)	1月9日(日) 1月16日(日)	1,000円	中学生～一般	10人
23	キッズ鑑賞ツアー 1月	富田めぐみ※	1月15日(土)	無料	親子(0歳～小学生)	4組 8人
24	陶芸講座	百田輝(陶芸家)	2月6日(日) 2月20日(日) 2月27日(日)	1,000円	中学生～一般	12人
25	子ども向けバックヤードツアー	当館学芸員	3月5日(土)	無料	小学生～中学生	12人
26	錫でバングルを作ろう!	糸賀英恵氏 (鍛金作家)	3月6日(日)	1,000円	小学生～一般	13人

※NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事

## (2) スクールプログラム

●児童・生徒向けプログラム 5プログラムを実施 参加者数:55人

●教員向けプログラム 5プログラムを実施 参加者数:49人

担当:江口恒明(当館学芸員)、品川ちひろ(当館会計年度任用職員)、浅野泰恵子(当館会計年度任用職員)

NO	講座名	講師	実施日	対象	参加者数
1	先生のための美術鑑賞ひろば 「柳原義達展」	当館学芸員	5月1日(土)	小・中・高・特別 支援学校の教職員	2人
2	平塚市立小学校教育研究会 図画工作部研修	ひらびあ一つま～れ	6月16日(水)	平塚市内小学校教員 図画工作部所属 教員	31人
3	県立平塚養護学校団体来館	当館学芸員	7月9日(金)	5・6年生と引率者	19人
4	中学・高校生ボランティア 事前説明会	当館職員	7月31日(金)	ボランティア参加 希望の中高生	7人
5	先生のための美術鑑賞ひろば 「Studio COOCAのパップアラ ラダイス 2021」	ひらびあ一つま～れ	8月6日(金)	小・中・高・特別 支援学校の教職員	3人

6	社会体験研修	当館学芸員	7月21日(水) 8月6日(金) 8月17日(火)	市内小学校5年経験者研修教員	3人
7	先生向け体験ワークショップ「和綴じ製本講座」	上島 明子氏 (有限会社美篤堂)	8月11日(水)	小・中・高・特別支援学校の教職員	10人
8	県立平塚養護学校団体来館	当館学芸員	12月14日(火)	3年生と引率者	13人
9	大磯町立大磯中学校団体来館	ひらびあ一つま〜れ	12月11日(土)	美術部員と引率者	11人
10	小田原町立山王小学校団体来館	ひらびあ一つま〜れ	2月1日(火)	4年生と引率者	中止
11	平塚盲学校	当館職員	2月16日(水)	中学3年生と高校3年生と引率者	5人

### (3) 対話による美術鑑賞事業・ボランティア育成

担当：江口恒明(当館学芸員)、浅野泰恵子(当館会計年度任用職員)

#### ●対話による美術鑑賞講座 6校(8学年) 19クラス実施 参加児童数：613人

NO	学校名	講師	学校実施日 (事前授業)	来館授業日	学年	クラス数	参加児童数
1	旭小学校	ひらびあ一つま〜れ	7月16日(木)	-	4年	3	92人
2	なでしこ小学校	ひらびあ一つま〜れ	10月5日(火)	-	3年	2	47人
3	崇善小学校	ひらびあ一つま〜れ	10月14日(木)	10月21日(木)	4年	3	108人
4	中原小学校	ひらびあ一つま〜れ	11月16日(火)	11月25日(木)	4年	2	69人
5	花水小学校	ひらびあ一つま〜れ	11月10日(水)、 11日(木)、12日(金)	11月30日(火)、 12月1日(水)、 2日(木)	6年	5	171人
6	大原小学校	ひらびあ一つま〜れ	12月9日(木)	12月17日(金)	3年	1	39人
7	大原小学校	ひらびあ一つま〜れ	12月9日(木)	12月17日(金)	4年	1	31人
8	なでしこ小学校	ひらびあ一つま〜れ	1月14日(金)	-	4年	2	56人
9	金田小学校	ひらびあ一つま〜れ	1月26日(木)、 27日(金)	-	5年	3	中止
10	金田小学校	ひらびあ一つま〜れ	2月17日(木)、 18日(金)	-	6年	3	中止
11	みずほ小学校	ひらびあ一つま〜れ	2月24日(木)、 25日(金)	-	4年	4	中止

※事前授業のみの授業も実施しました。

#### ●一般来館者を対象に対話による美術鑑賞を実施しました。

1プログラム2回を実施 参加者数22人

NO	鑑賞会名	講師	実施日	参加人数
1	おしゃべり美術館	ひらびあ一つま〜れ	8月11日(水)	4人
2	おしゃべり美術館	ひらびあ一つま〜れ	8月12日(木)	18人
3	おしゃべり美術館	ひらびあ一つま〜れ	8月13日(金)	中止
4	おしゃべり美術館	ひらびあ一つま〜れ	8月14日(土)	中止

●ボランティア育成のための研修等を実施しました。

対話による美術鑑賞ボランティア(ひらびあ一つま〜れ)6期生の育成、及び新規加入の7期生7名の育成を実施しています。また、7期生募集のための体験会、ボランティア同士の交流やミーティングを目的としたひらびcaféを実施しました。

41プログラムを実施 参加者数：379人

NO	講座名	講師	実施日	参加人数
1	ひらびcafé (おしゃべり美術館ミーティング)	当館学芸員	4月2日(金)	12人
2	自主研修	当館学芸員	4月3日(土)	8人
3	自主研修	当館学芸員	4月14日(水)	4人
4	6期実践研修	三ツ木紀英 (ARDA)	4月16日(金)	14人
5	ひらびcafé (おしゃべり美術館ミーティング)	当館学芸員	4月23日(金)	13人
6	ひらびcafé	当館学芸員	4月28日(水)	13人
7	自主研修	当館学芸員	5月7日(金)	9人
8	自主研修	当館学芸員	5月12日(水)	7人
9	6期実践研修	三ツ木紀英 (ARDA)	5月22日(金)	16人
10	自主研修	当館学芸員	5月26日(水)	6人
11	ひらびcafé (おしゃべり美術館ミーティング)	当館学芸員	5月28日(金)	7人
12	自主研修	当館学芸員	6月4日(金)	13人
13	自主研修 (図工部会ミーティング)	当館学芸員	6月8日(火)	10人
14	自主研修	当館学芸員	6月11日(金)	9人
15	自主研修	当館学芸員	6月18日(金)	11人
16	6期実践研修	三ツ木紀英 (ARDA)	6月25日(金)	12人
17	自主研修	当館学芸員	7月2日(金)	15人
18	ひらびcafé (体験会ミーティング)	当館学芸員	7月8日(土)	10人
19	体験会1回目	当館学芸員	7月15日(木)	10人
20	体験会2回目	当館学芸員	7月21日(水)	10人
21	ひらびCafé (先生のための鑑賞ひろばミーティング)	当館学芸員	7月30日(金)	11人
22	ひらびcafé (おしゃべり美術館ミーティング)	当館学芸員	8月4日(水)	7人
23	ひらびcafé (おしゃべり美術館ミーティング)	当館学芸員	8月6日(金)	9人
24	体験会3回目	当館学芸員	8月7日(土)	7人
25	6期実践研修	三ツ木紀英 (ARDA)	8月20日(金)	10人
26	ひらびcafé (おしゃべり美術館振り返り)	当館学芸員	8月25日(水)	4人
27	基礎研修1回目	三ツ木紀英 (ARDA)	9月11日(土)	8人
28	基礎研修2回目	三ツ木紀英 (ARDA)	9月18日(土)	8人
29	7期実践研修	三ツ木紀英 (ARDA)	10月9日(土)	7人
30	7期実践研修	三ツ木紀英 (ARDA)	10月30日(土)	5人
31	7期実践研修	三ツ木紀英 (ARDA)	11月13日(土)	7人
32	合同研修 (1-7期)	三ツ木紀英 (ARDA)	12月4日(土)	15人
33	7期実践研修	桑原和美 (ARDA)	12月18日(土)	6人
34	7期実践研修	三ツ木紀英 (ARDA)	1月15日(土)	7人
35	ひらびCafé	当館学芸員	1月20日(木)	3人
36	7期実践研修	三ツ木紀英 (ARDA)	1月29日(土)	5人

37	自主研修	当館学芸員	2月12日(土)	5人
38	合同研修(1-7期)	三ツ木紀英(ARDA)	3月11日(金)	22人
39	ひらびーCafé(学校振り返り)	当館学芸員	3月18日(金)	6人
40	自主研修	当館学芸員	3月26日(土)	7人
41	自主研修	当館学芸員	3月30日(水)	11人

#### (4) アートカードの貸出

平塚市美術館を代表する所蔵作品48点のカードと遊び方の説明書を合わせたアートカードセットを、学校向け教材として無料貸出を行いました。

貸出実績：3件

#### (5) おうちで美術を楽しもう

ご自宅でも平塚市美術館の所蔵作品を楽しんでいただけるよう、ワークシートを美術館ウェブにて公開しました。また、投稿作品をウェブで紹介しました。

担当：品川ちひろ(当館会計年度任用職員)

**平塚市美術館**  
**おうちで美術を楽しもう!**

美術館ウェブでは、時間や場所を選ばず、いつでもどこでも  
所蔵品を鑑賞出来るコンテンツを、多数ご用意しています。  
是非ご家族でお楽しみください。

**ワークシート**

大人も楽しめる所蔵作品の「塗り絵」や、家族で遊ぶことの出来る「すごろく」など、鑑賞のきっかけになるワークシートが多数！印刷してお楽しみください。

完成したら、画像を美術館まで送ってね!




[http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/art-museum/qaip14\\_00216.html](http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/art-museum/qaip14_00216.html)

**YouTube**  
平塚市美術館公式チャンネル

「展覧会紹介」「作家インタビュー」「オンラインワークショップ」など様々な動画を随時公開しています。

チャンネル登録してね!




<https://www.youtube.com/user/HiratsukaMuseumofArt>

**あつまれ どうぶつの森**

Nintendo Switchのソフト「あつまれ どうぶつの森」に平塚市美術館の所蔵作品を飾ってみましょう！作品ごとにQRコードがあるので、読み込んでくださいね。

作品を飾ったらハッシュタグをつけてSNSに投稿してね!




#平塚市美術館 #あつまれ どうぶつの森

[http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/art-museum/qaip14\\_00220.html](http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/art-museum/qaip14_00220.html)

問合せ先  
平塚市美術館 学芸担当  
0463-35-2111

## IV その他の事業

### (1) 事業

#### ●こども年賀状とおとな絵手紙展

会 期：2022年1月6日（木）～1月10日（月・祝）

主 催：平塚市美術館

場 所：市民アートギャラリーA室

内 容：美術館を身近に感じていただくための取り組みとして、美術館への年賀状と絵手紙作品を募集し、市民アートギャラリーに展示する「こども年賀状とおとな絵手紙展」を開催しました。当企画は平成20年度開催から数えて、今回で13回目となります。

作品数：190点

入場者数：251人

#### ●七夕飾り



会期：7月3日（土）～7月19日（月）

主催：平塚市美術館

内容：平塚の七夕祭りの時期にあわせて、ワークショップ「おうちの窓を天の川にしよう！ 星とカササギの七夕モビール作り」で制作した七夕飾りを展示しました。ワークショップ講師、参加者の方々と一緒にテーマホールに飾りつけ、来館者にも楽しんでいただきました。

展示指導：依田梓氏（美術家）

場 所：テーマホール ※自由観覧

### (2) 団体向け研修・体験プログラム

新型コロナウイルス感染症対策のため実施しませんでした。

### (3) 博物館実習生及び職場体験

#### ●博物館実習生の受け入れ

当館の活動に携わることで学芸員の職務を理解することを目的として、美術を専攻する博物館学実習生 10 人(9 大学)を受け入れ、6 月から 12 月まで実習を実施しました。

#### ●中堅教諭等資質向上研修・社会体験研修の受け入れ。

5 年時研修として 3 名の教員の受け入れを行いました。

#### ●職場体験

美術館の仕事を実際に体験することで社会性・勤労観やマナーを身に付け、将来の職業選択につながるよう、市内中学校 2 校 10 人を対象に美術館の概要講義や業務体験を実施した。

また、市内高校 1 校 2 人のインターンシップを実施しました。

### (4) 所蔵作品データベースの公開

所蔵作品のデータベースを整備し、10 月 28 日(木)より WEB 上に公開しました。

公開している情報は、作家名、作品名、制作年、材質技法、寸法、寄贈者、作品画像などです。

なお、作品は、作家名、ジャンルやキーワードなどで検索することができます。

また、展覧会と連動し、現在展示中の作品が分かるよう随時更新していく予定です。

日本語サイト：<https://jmapps.ne.jp/hiratukabi/>

英語サイト：[https://jmapps.ne.jp/hiratukabi\\_en/](https://jmapps.ne.jp/hiratukabi_en/)

### (5) 美術館パスポート企画参加

(株)グラニフが「美術館に行こう」をテーマに全国の美術館と企画した「パスポートTシャツを着て美術館に行こう」に賛同し、パスポートTシャツを着て来館された方にオリジナル缶バッジを進呈しました。

期間 7 月 3 日(土)から 12 月 31 日(金)まで

## V 施設利用者等の統計

### (1) 展覧会

#### ●観覧者数

月	R3年度			R2年度			R元(H31)年度					
	開館日数	企画展	特集展	合計	開館日数	企画展	特集展	合計	開館日数	企画展	特集展	合計
4月	26日	2,842人	-	2,842人	-	-	-	-	25日	1,461人	-	1,461人
5月	26日	16,666人	-	16,666人	-	-	-	-	27日	6,374人	-	6,374人
6月	26日	11,803人	-	11,803人	13日	-	404人	404人	26日	3,720人	108人	3,828人
7月	27日	2,155人	1,938人	4,093人	27日	-	1,470人	1,470人	26日	7,289人	4,825人	12,114人
8月	26日	3,202人	2,607人	5,809人	26日	-	2,286人	2,286人	27日	13,236人	8,149人	21,385人
9月	26日	2,048人	1,791人	3,839人	26日	-	1,655人	1,655人	25日	-	762人	762人
10月	27日	2,439人	1,856人	4,295人	27日	-	2,437人	2,437人	27日	1,996人	1,793人	3,789人
11月	25日	3,101人	2,791人	5,892人	25日	-	2,186人	2,186人	26日	4,913人	4,452人	9,365人
12月	24日	2,083人	2,061人	4,144人	23日	-	1,238人	1,238人	24日	375人	1,530人	1,905人
1月	24日	-	2,052人	2,052人	24日	-	1,214人	1,214人	24日	-	2,718人	2,718人
2月	24日	-	2,161人	2,161人	24日	-	1,852人	1,852人	25日	-	2,826人	2,826人
3月	27日	-	3,755人	3,755人	26日	-	1,973人	1,973人	1日	-	57人	57人
4月	3日	-	532人	532人	4日	-	627人	627人	3日	-	105人	105人
計	311日	46,339人	21,544人	67,883人	245日	0人	17,342人	17,342人	286日	39,364人	27,325人	66,689人

#### ●学校観覧

		R3年度						R2年度						R元(H31)年度					
		企画展			特集展			企画展			特集展			企画展			特集展		
		学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数
小学校	市内	7校	443人	33人	10校	590人	51人	-	-	-	4校	264人	21人	6校	369人	29人	7校	352人	28人
	市外	-	-	-	0校	0人	0人	-	-	-	0校	0人	0人	8校	403人	26人	10校	567人	39人
中学校	市内	2校	14人	6人	1校	5人	2人	-	-	-	1校	5人	3人	4校	41人	10人	3校	40人	12人
	市外	2校	20人	2人	2校	20人	2人	-	-	-	0校	0人	0人	14校	189人	20人	13校	175人	19人
高等学校		6校	40人	20人	5校	31人	16人	-	-	-	0校	0人	0人	7校	73人	21人	5人	75人	28人
計		17校	517人	61人	18校	646人	71人	-	-	-	5校	269人	24人	39校	1,075人	106人	38校	1,209人	126人

## (2) 貸出施設

### ●市民アートギャラリー

月	R3年度			R2年度			R元(H31)年度		
	利用日数	団体数	入場者数	利用日数	団体数	入場者数	利用日数	団体数	入場者数
4月	12日	2団体	541人	-	-	-	25日	6団体	2,822人
5月	17日	4団体	1,470人	-	-	-	26日	7団体	4,089人
6月	12日	2団体	1,278人	-	-	-	24日	7団体	4,038人
7月	18日	4団体	1,966人	6日	1団体	1,050人	29日	5団体	2,951人
8月	16日	5団体	1,087人	11日	2団体	383人	24日	6団体	4,300人
9月	13日	2団体	492人	19日	4団体	1,339人	23日	6団体	3,463人
10月	19日	3団体	1,601人	13日	2団体	792人	26日	6団体	3,188人
11月	24日	5団体	2,814人	12日	1団体	317人	25日	6団体	7,650人
12月	6日	2団体	606人	6日	1団体	307人	12日	3団体	1,456人
1月	13日	3団体	1038人	13日	3団体	783人	24日	5団体	4,830人
2月	12日	3団体	762人	12日	2団体	522人	19日	5団体	3,829人
3月	24日	4団体	3291人	12日	2団体	673人	-	-	-
計	186日	39団体	16,946人	115日	18団体	6,166人	257日	62団体	42,616人

### ●ミュージアムホール

月	R3年度			R2年度			R元(H31)年度		
	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数
4月	3日	3団体	152人	-	-	-	3日	3団体	235人
5月	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月	4日	4団体	137人	-	-	-	9日	9団体	825人
7月	2日	2団体	100人	-	-	-	2日	2団体	185人
8月	1日	1団体	22人	1日	1団体	47人	-	-	-
9月	4日	5団体	181人	3日	3団体	105人	5日	5団体	270人
10月	2日	2団体	90人	1日	1団体	70人	-	-	-
11月	-	-	-	1日	1団体	47人	3日	3団体	160人
12月	4日	6団体	263人	6日	6団体	293人	9日	9団体	680人
1月	1日	1団体	50人	0日	0団体	0人	3日	3団体	265人
2月	2日	2団体	70人	1日	1団体	7人	1日	1団体	50人
3月	10日	10団体	313人	7日	8団体	349人	-	-	-
計	33日	36団体	1378人	20日	21団体	918人	35日	35団体	2,670人

●アトリエ

月	R3年度			R2年度			R元(H31)年度		
	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数
4月	4日	4団体	36人	-	-	-	3日	3団体	30人
5月	1日	1団体	4人	-	-	-	2日	2団体	18人
6月	3日	4団体	41人	-	-	-	4日	4団体	44人
7月	4日	4団体	32人	4日	4団体	48人	4日	4団体	53人
8月	1日	1団体	12人	0日	0団体	0人	3日	3団体	57人
9月	2日	2団体	23人	2日	2団体	13人	3日	3団体	28人
10月	4日	4団体	83人	3日	3団体	28人	5日	5団体	309人
11月	5日	5団体	52人	4日	4団体	39人	5日	5団体	100人
12月	3日	3団体	23人	4日	4団体	32人	2日	2団体	17人
1月	10日	5団体	273人	10日	1団体	149人	11日	3団体	214人
2月	1日	1団体	12人	1日	1団体	6人	4日	4団体	64人
3月	3日	3団体	31人	4日	4団体	33人	-	-	-
計	41日	37団体	622人	32日	23団体	348人	46日	38団体	934人

## VI 施設の管理

●防災訓練

実施日時：12月7日（火）・8日（水） 9：00～9：15

参加者：延べ27人

内容

新型コロナウイルス感染症対策のため、昨年度に引き続き職員及び委託業者を対象に小規模な訓練を実施しました。通常は施錠されている2階屋上広場の開場方法及び消火器等の設置場所の確認（図面配布）、展示室内から北側非常階段への非常口の開場方と屋外への避難経路の確認を行いました。